

繊維, より糸, 糸, 織物, 羽毛またはこのような材料から製造された繊維製品のクラス D06 の他に分類されない処理

注

(1) D06M11/00-D06M15/00 の各グループにおいては, ラストブレイス優先ルールが適用される, すなわち各階層レベルにおいて相反する指示のない限り, 物質は最後の適切な箇所に分類される。

(2) このサブクラスにおいては, :

(a) D06M11/00-D06M15/00 の各メイングループにおいては, 物質の混合物は少なくとも必須な成分に従って分類される。複数の成分が必須である場合は, 相反する指示がない限り, 一連の物質の中で最後の適切な箇所に属する必須成分に従って分類される。

(b) メイングループ D06M11/00-D06M15/00 の 2 つ以上に包含される物質の混合物による処理は, それぞれの適切なメイングループに分類される。

(3) このサブクラスにおいては, 布地の処理は, クラス D06 に分類されていないため, 以下の原理に従って分類される。

(a) 処理剤に特徴のある繊維製品の処理はグループ D06M11/00-D06M16/00;

(b) プロセスに特徴のある繊維製品の処理はグループ D06M23/00

(4) IPC がどの版の化学元素周期表を参照しているかを示すセクション C のタイトルに続く注 (3) に注意すること。

サブクラス内の索引

繊維, より糸, 糸, 織物または繊維製品の処理	
無機物質によるもの 11/00	
非高分子有機物質によるもの 13/00	
グラフト重合 14/00	
高分子物質によるもの 15/00	
生化学的処理 16/00	
物理的処理 10/00	
プロセスに特徴のある処理 23/00	
羽毛の処理 19/00	
多層織物の製造 17/00	

10/00 繊維, より糸, 糸, 織物またはこのような材料から製造された繊維製品の物理的処理, 例. 超音波, コロナ放電, 放射線, 電流または磁界; 化学的な化合物または元素による処理と組み合わせた物理的処理[2, 5]

A	炭素繊維に対するもの
B	その他の繊維に対するもの
C	・高周波
E	・マイクロ波
J	・電子線, 放射線
K	・光 [紫外線, 赤外線, レーザー]
L	・通電
Z	その他のもの
10/02	・超音波または音波; コロナ放電[5]
A	超音波

B	放電
C	・プラズマ [グロー放電]
D	・コロナ放電
Z	その他のもの
10/04	・化学的な化合物または元素による処理と組み合わせた物理的処理 (波動エネルギーまたは粒子線を利用したグラフト重合 D06M14/18) [5]
10/06	・・無機化合物または元素[5]
10/08	・・有機化合物[5]
10/10	・・・高分子化合物[5]
11/00	繊維, より糸, 糸, 織物, またはこのような材料から製造された繊維製品の, 無機物質またはその錯体による処理; そのような処理が機械的処理と組み合わせられたもの, 例. マーセル化 (D06M10/00 が優先) [2006. 01]
100	・処理媒体の除去を伴う処理
110	・・アルカリによるもの
111	・・・ポリエステル繊維を対象としたもの
112	・・・・繊維が添加剤を含むもの
113	・・・・・添加剤が無機質
114	・・・・・添加剤が有機質 (共重合ポリエステル繊維を含む)
115	・・・・部分的処理を行うもの
120	・・酸によるもの
130	・・酸化剤または還元剤によるもの
140	・・不活性物質によるもの
150	・・多段階工程によるもの

注

1. このグループにおいては, 下記の用語は以下に示す意味で用いる;

注

—“処理” は, 相反する指示のない限り, 最終産物をもたらす処理を意味する。例. 硫酸バリウムによる処理は, 塩化バリウムと硫酸による二つの段階に分かれた処理でありうる。[5]

注

2. 処理に使われる化合物がその陽イオンによって特徴づけられる場合, この観点はメイングループ D06M11/00 のみに分類し, グループ D06M11/01-D06M11/80 には分類しない。後に還元を伴う金属塩の処理による金属化法はグループ D06M11/83 に分類される[5]

注

3. このグループにおいては, グループ D06M101/00 のインデキシングコードを付与することが望ましい。[5]

11/01	・水素, 水または重水によるもの; 金属の水素化物またはその錯体によるもの; ボラン, ジボラン, シラン, ジシラン, ホスフィン, ジホスフィン, スチビン, ジスチビン, アルシンまたはジアルシン, またはこれらの錯体によるもの[5]
11/05	・水によるもの, 例. 水蒸気; 重水によるもの[5]

11/07	・ハロゲンによるもの;ハロゲン酸またはその塩によるもの;ハロゲンの酸化物または酸素酸, またはその塩によるもの[5]		酸化物または水酸化物;チタン酸塩;ジルコニウム酸塩;すず酸塩;鉛酸塩[2006. 01]
11/09	・・遊離ハロゲンまたはハロゲン間化合物によるもの[5]	11/47	・・・周期表第 5 族または第 15 族の元素の酸化物または水酸化物;バナジウム酸塩;ニオブ酸塩;タンタル酸塩;ひ酸塩;アンチモン酸塩;ビスマス酸塩[2006. 01]
11/11	・・ハロゲン酸またはその塩によるもの[5]		
11/13	・・・ハロゲン化アンモニウムまたは周期表第 1 族または第 11 族の元素ハロゲン化物[2006. 01]	11/48	・・・クロム, モリブデンまたはタングステンの酸化物または水酸化物;クロム酸塩;重クロム酸塩;モリブデン酸塩;タングステン酸塩[5]
11/155	・・・周期表第 2 族または第 12 族の元素のハロゲン化物[2006. 01]	11/49	・・・周期表第 8 族, 第 9 族, 第 10 族または第 18 族の元素の酸化物または水酸化物;鉄酸塩;コバルト酸塩;ニッケル酸塩;ルテニウム酸塩;オスミウム酸塩;ロジウム酸塩;イリジウム酸塩;パラジウム酸塩;白金酸塩[2006. 01]
11/17	・・・周期表第 3 族または第 13 族の元素のハロゲン化物[2006. 01]		
11/20	・・・周期表第 4 族または第 14 族の元素のハロゲン化物, 例. 塩化ジルコニウム[2006. 01]	11/50	・・過酸化水素または金属の過酸化物によるもの;過硫酸, 過マンガン酸, 過硝酸, 過炭酸またはこれらの塩によるもの[5]
11/22	・・・周期表第 5 族または第 15 族の元素のハロゲン化物[2006. 01]	11/51	・硫黄, セレン, テルル, ポロニウムまたはその化合物によるもの(過硫酸またはその塩によるもの D06M11/50) [5]
11/24	・・・周期表第 6 族または第 16 族の元素のハロゲン化物, 例. 塩化クロム[2006. 01]	11/52	・・セレン, テルル, ポロニウムまたはこれらの化合物によるもの;硫黄, 亜ニチオン酸塩または硫黄とハロゲンを含む化合物で酸素を含むものまたは含まないものによるもの;クロロスルホン酸によるスルホン化—ハロゲン化によるもの;二酸化イオウと遊離ハロゲンの混合物によるスルホン化—ハロゲン化によるもの[5]
11/26	・・・周期表第 7 族の元素のハロゲン化物(ハロゲン間化合物 D06M11/09) [2006. 01]	11/53	・・硫化水素またはその塩によるもの;多硫化物によるもの[5]
11/28	・・・周期表第 8 族, 第 9 族, 第 10 族または第 18 族の元素のハロゲン化物[2006. 01]	11/54	・・二酸化硫黄によるもの;亜硫酸またはその塩によるもの(D06M11/52 が優先) [5]
11/30	・・ハロゲンの酸化物, ハロゲンの酸素酸またはその塩によるもの, 例. 過塩素酸塩によるもの[5]	11/55	・・三酸化硫黄によるもの;硫酸チオ硫酸またはその塩によるもの[5]
11/32	・酸素, オゾン, オゾニド, 酸化物, 水酸化物またはペルオキシ酸化合物によるもの;両性元素—酸素結合によりアニオンから誘導される塩(水または重水によるもの D06M11/05;ハロゲンの酸化物または酸素酸によるもの D06M11/30) [2006. 01]	11/56	・・・周期表第 3 族または第 13 族以外の元素の硫酸塩またはチオ硫酸塩によるもの[2006. 01]
11/34	・・酸素, オゾンまたはオゾニドによるもの[5]	11/57	・・・周期表第 3 族または第 13 族の元素の硫酸塩またはチオ硫酸塩によるもの, 例. ミョウバン[2006. 01]
11/36	・・酸化物, 水酸化物または混合酸化物によるもの;両性元素—酸素結合によるアニオンから誘導される塩によるもの[5]	11/58	・窒素またはその化合物によるもの(ハロゲン化アンモニウムによるもの D06M11/13) [5]
11/38	・・・周期表第 1 族または第 11 族の元素の酸化物または水酸化物[2006. 01]	11/59	・・アンモニアによるもの;無機物質と有機アミンの錯体によるもの[5]
11/40	・・・機械的張力との組み合わせまたはその欠如によるもの, 例. 弛緩マーセル化[5]	11/60	・・・気体または溶液状のアンモニア[5]
11/42	・・・銅, 銀または金の酸化物または水酸化物[5]	11/61	・・・液体アンモニア[5]
11/44	・・・周期表第 2 族または第 12 族の元素の酸化物または水酸化物;亜鉛酸塩;カドミウム酸塩[2006. 01]	11/62	・・・アンモニアまたは有機アミンと金属酸化物または金属塩との錯体[5]
11/45	・・・周期表第 3 族または第 13 族の元素の酸化物または水酸化物;アルミニウム酸塩[2006. 01]	11/63	・・ヒドロキシルアミンまたはヒドラジン
11/46	・・・周期表第 4 族または第 14 族の元素の		

	によるもの[5]		るもの[5]
11/64	・窒素酸化物によるもの;窒素の酸素酸またはその塩によるもの(過硝酸またはその塩によるもの D06M11/50) [5]	11/80	・ほう素またはその化合物によるもの, 例. ほう化物(ボランまたはジボランによるもの D06M11/01;炭化ほう素によるもの D06M11/74) [5]
11/65	・窒素の酸素酸の塩によるもの[5]		
11/66	・スルファミド酸またはその塩によるもの[5]	11/81	・ほう素によるもの;ハロゲン化ほう素によるもの;フルオロほう酸塩によるもの[5]
11/67	・シアンまたはその化合物によるもの, 例. シアン化水素酸, シアン酸, イソシアン酸, チオシアン酸, イソチオシアン酸またはこれらの塩によるもの, またはシアナミドによるもの;カルバミン酸またはその塩によるもの(ジシアナミドによるもの D06M13/432) [5]	11/82	・酸化ほう素によるもの;ほう酸, メタほう酸または過ほう酸またはこれらの塩によるもの, 例. ほう砂[5]
11/68	・りんまたはその化合物によるもの, 例. クロロホスホン酸またはその塩によるもの(ホスフィンまたはジホスフィンによるもの D06M11/01;セレンまたはテルル化合物によるもの D06M11/52;ポリホスファゼンまたはその誘導体によるもの D06M15/673) [5]	11/83	・金属によるもの;金属生成化合物, 例. 金属カルボニル, によるもの;繊維製品上での金属化合物の還元[2006. 01]
11/69	・りんによるもの;りんのハロゲン化物またはハロゲン酸化物によるもの;クロロホスホン酸またはその塩によるもの[5]	11/84	・機械的处理との組み合わせ(機械的張力との組み合わせ, 例. マーセル化, D06M11/40) [5]
11/70	・りんの酸化物によるもの;次亜りん酸, 亜りん酸またはりん酸またはその塩によるもの[5]	13/00	繊維, より糸, 糸, 織物, またはこのような材料から製造された繊維製品の, 非高分子有機化合物による処理(D06M10/00, D06M14/00が優先;有機アミンと無機物質の錯体による処理 D06M11/59);機械的处理と組合せられたこのような処理[4, 5]
11/71	・りん酸の塩によるもの[5]		
11/72	・メタ酸またはその塩によるもの;ポリりん酸またはその塩によるもの;過りん酸またはその塩によるもの[5]		
11/73	・炭素またはその化合物によるもの(D06M11/67が優先) [5]		
11/74	・炭素または石墨によるもの;炭化物によるもの;石墨酸またはその塩によるもの[5]		
11/75	・ホスゲンによるもの;炭酸と硫黄の両方を含む化合物, 例. チオホスゲン, によるもの(チオシアン酸によるもの D06M11/67;チオカルバミン酸によるもの D06M13/425;チオ尿素によるもの D06M13/432) [5]		
11/76	・酸化炭素または炭素塩によるもの(D06M11/75が優先;過炭酸またはその塩によるもの D06M11/50;尿素によるもの D06M13/432) [5]		
11/77	・けい素またはその化合物によるもの(シランまたはジシランによるもの D06M11/01) [5]		
11/78	・けい素によるもの;けい素のハロゲン化物またはオキシハロゲン化物によるもの;フルオロけい酸塩によるもの[5]		
11/79	・二酸化けい素, けい酸またはその塩によ		

注

1. このグループにおいては, 下記の用語は以下に示す意味で用いる:

注

—“処理”とは, 相反する指示がない限り, 最終産物をもたらす処理を意味する。例. クロロ酢酸による処理は, 塩化クロロアセチルとけん化による二つの段階に分かれた処理を意味しうる。[5]

注

2. このグループにおいては, グループ D06M101/00 のインデキシングコードを付与することが望ましい。[5]

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 13/02 | ・炭化水素によるもの |
| 13/03 | ・不飽和炭化水素, 例. アルケンまたはアルキン, によるもの[5] |
| 13/07 | ・芳香族炭化水素[5] |
| 13/08 | ・ハロゲン化炭化水素によるもの |
| 13/10 | ・酸素を含む化合物によるもの |
| 13/11 | ・エポキシ基を含む化合物またはその前駆体[5] |
| 13/12 | ・アルデヒド;ケトン |
| 13/123 | ・ポリアルデヒド, ポリケトン[5] |
| 13/127 | ・モノアルデヒド, 例. ホルムアルデヒド;モノケトン[5] |
| 13/13 | ・不飽和アルデヒド, 例. アクロレイン;不飽和ケトン;ケテン[5] |
| 13/133 | ・ハロゲン化アルデヒド;ハロゲン化ケトン[5] |
| 13/137 | ・アセタール, 例. ホルマールまたはケタール[5] |

13/144	・ ・ アルコール; 金属アルコラート (D06M13/11 が優先) [5]	13/285	・ ・ ・ ホスフィン; 酸化ホスフィン; 硫化ホスフィン; ホスフィン酸または亜ホスフィン酸, またはその誘導体 [5]
13/148	・ ・ ・ ポリアルコール, 例. グリセロール [5]	13/288	・ ・ ・ ホスホン酸または亜ホスホン酸またはその誘導体 [5]
13/152	・ ・ 六員芳香環の炭素原子に結合したヒドロキシ基のあるもの [5]	13/29	・ ・ ・ ・ ハロゲン原子を含むもの [5]
13/156	・ ・ ・ ハロゲン原子を含むもの [5]	13/292	・ ・ ・ りん酸または亜りん酸の, モノ, ジ, またはトリエステル; その塩 [5]
13/165	・ ・ エーテル (D06M13/11 が優先) [5]	13/295	・ ・ ・ ・ ポリグリコール成分を含むもの; ネオペンチル成分を含むもの [5]
13/17	・ ・ ・ ポリオキシアルキレングリコールエーテル [5]	13/298	・ ・ ・ ・ ハロゲン原子を含むもの [5]
13/175	・ ・ 不飽和エーテル, 例. ビニルエーテル [5]	13/313	・ ・ ・ りん原子を含む不飽和化合物, 例. ビニルホスホニウム化合物 [5]
13/184	・ ・ カルボン酸; その無水物, ハロゲン化物または塩 [5]	13/322	・ 窒素を含む化合物によるもの [5]
13/188	・ ・ ・ モノカルボン酸; その無水物, ハロゲン化物または塩 [5]	13/325	・ ・ アミン [5]
13/192	・ ・ ・ ポリカルボン酸; その無水物, ハロゲン化物または塩 [5]	13/328	・ ・ ・ アミン基が非環式または脂環式炭素原子に結合しているもの [5]
13/196	・ ・ ・ 過カルボン酸; その無水物, ハロゲン化物または塩 [5]	13/33	・ ・ ・ ・ ハロゲン原子を含むもの [5]
13/203	・ ・ ・ 不飽和カルボン酸; その無水物, ハロゲン化物または塩 [5]	13/332	・ ・ ・ ジアミンまたはポリアミン [5]
13/207	・ ・ 置換されたカルボン酸, 例. ヒドロキシまたはケト基によるもの; その無水物, ハロゲン化物または塩 [5]	13/335	・ ・ ・ アミノ基が六員芳香環の炭素原子に結合しているもの [5]
13/21	・ ・ ・ ・ ハロゲン化されたカルボン酸; その無水物, ハロゲン化物または塩 [5]	13/338	・ ・ ・ 有機ヒドラジン; ヒドラジニウム化合物 [5]
13/213	・ ・ ・ ・ 過ふっ化アルキルカルボン酸; その無水物, ハロゲン化物または塩 [5]	13/342	・ ・ ・ アミノカルボン酸; ベタイン; アミノスルホン酸; スルホベタイン [5]
13/217	・ ・ ・ ・ 末端基としてカルボキシル基をもつポリオキシアルキレングリコールエーテル; その無水物, ハロゲン化物または塩 [5]	13/345	・ ・ ニトリル [5]
13/224	・ ・ カルボン酸エステル; 炭酸エステル [5]	13/348	・ ・ ・ 不飽和物, 例. アクリロニトリル [5]
13/228	・ ・ ・ 環式エステル, 例. ラクトン [5]	13/35	・ ・ 複素環式化合物 [5]
13/232	・ ・ ・ 有機炭酸エステル [5]	13/352	・ ・ ・ 5 員複素環をもつもの [5]
13/236	・ ・ ・ ハロゲン原子を含むもの [5]	13/355	・ ・ ・ 6 員複素環をもつもの [5]
13/238	・ ・ ・ タンニン, 例. ガロイル没食子酸 [5]	13/358	・ ・ ・ ・ トリアジン [5]
13/244	・ 硫黄またはりんを含む化合物によるもの [5]	13/364	・ ・ ・ ・ シアヌル酸; イソシアヌル酸; その誘導体 [5]
13/248	・ ・ 硫黄を含む化合物によるもの [5]	13/368	・ ・ ヒドロキシアルキルアミン; その誘導体, 例. クリチーフスキ塩基 [5]
13/252	・ ・ ・メルカプタン, チオフェノール, 硫化物または多硫化物, 例. メルカプト酢酸; スルホニウム化合物 [5]	13/372	・ ・ エーテル化またはエステル化された水酸基をもつもの [5]
13/256	・ ・ ・ スルホネート化合物 [5]	13/376	・ ・ オキシム [5]
13/262	・ ・ ・ 硫酸塩化合物 [5]	13/382	・ ・ アミノアルデヒド [5]
13/265	・ ・ ・ ハロゲン原子を含むもの [5]	13/385	・ ・ エポキシ基を含むもの [5]
13/268	・ ・ ・ スルホン [5]	13/388	・ ・ 酸化アミン [5]
13/272	・ ・ ・ 硫黄原子を含む不飽和化合物 [5]	13/392	・ ・ ニトロソ化合物; ニトロ化合物 [5]
13/275	・ ・ ・ ・ ビニルチオエーテル [5]	13/395	・ ・ イソシアネート [5]
13/278	・ ・ ・ ・ ビニルスルホニウム化合物; ビニルスルホンまたはビニルスルホキシド化合物 [5]	13/398	・ ・ ・ ふっ素原子を含むもの [5]
13/282	・ ・ りんを含む化合物によるもの [5]	13/402	・ ・ アミド [5]
		13/405	・ ・ ・ アシル化ポリアルキレンポリアミン [5]
		13/408	・ ・ ・ ふっ素原子を含むアシル化アミン; 過フルオロカルボン酸のアミド [5]
		13/41	・ ・ ・ 不飽和カルボン酸から誘導されたアミド, 例. アクリルアミド [5]
		13/412	・ ・ ・ ・ N—メチルアクリルアミド [5]
		13/415	・ ・ ・ 芳香族カルボン酸のアミド; アシル化

	芳香族アミン[5]		[5]
13/418	・ ・ ・ 環式アミド, 例. ラクタム; オキザル酸のアミド[5]	13/52	・ 機械的処理との組合せによるもの[2006. 01]
13/419	・ ・ ・ ヒドロキシアルキル基, またはエーテル化またはエステル化されたヒドロキシアルキル基で置換されたアミド基の窒素原子をもつアミド[5]	13/525	・ ・ エンボス; カレンダーがけ; プレス[2006. 01]
13/422	・ ・ ・ ヒドラジド[5]	13/53	・ ・ 冷却; スチーミングまたは加熱, 例. 流動層中のもの; 熔融金属によるもの[5]
13/425	・ ・ ・ カルバミン酸またはチオカルバミン酸, またはその誘導体, 例. ウレタン (未置換のカルバミン酸 D06M11/67) [5]	13/535	・ ・ 吸引; 真空処理; ガス抜き; 吹込[5]
13/428	・ ・ ・ ・ ふっ素原子を含むもの[5]	14/00	繊維, より糸, 糸, 織物, またはこれらの材料から製造された繊維製品に対する炭素-炭素不飽和結合を含有する単量体のグラフト重合[4]
13/432	・ ・ ・ 尿素, チオ尿素またはその誘導体, 例. ビウレット; 尿素包接化合物; ジシアナミド; グアニジン, 例. ジシアンジアミド[5]	14/02	・ 天然物から得られる材料に対するもの (D06M14/18 が優先) [4]
13/435	・ ・ ・ セミカルバジド[5]	14/04	・ ・ 植物から得られる材料, 例. セルロースまたはその誘導体, に対するもの[4]
13/438	・ ・ ・ スルホンアミド[5]	14/06	・ ・ 動物から得られる材料, 例. 羊毛または絹に対するもの[4]
13/44	・ ・ 窒素とりんを含むもの	14/08	・ 合成物から得られる材料に対するもの (D06M14/18 が優先) [4]
13/447	・ ・ ・ 窒素原子を含むホスホン酸塩またはホスフィン酸塩[5]	14/10	・ ・ 炭素-炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られる高分子化合物の材料に対するもの[4]
13/453	・ ・ ・ 窒素原子を含むりん酸塩または亜りん酸塩[5]	14/12	・ ・ 炭素-炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られる高分子化合物の材料に対するもの[4]
13/46	・ ・ 第四級窒素原子を含む化合物 (ヒドラジニウム化合物 D06M13/338; ベタイン, スルホベタイン D06M13/342) [5]	14/14	・ ・ ・ ポリエステル[4]
13/463	・ ・ ・ モノアミンから誘導されるもの[5]	14/16	・ ・ ・ ポリアミド[4]
13/467	・ ・ ・ ポリアミンから誘導されるもの[5]	14/18	・ 波動エネルギーまたは粒子線の照射を利用するもの[4]
13/47	・ ・ ・ 複素環式化合物から誘導されるもの[5]	14/20	・ ・ 天然物から得られる材料に対するもの[4]
13/473	・ ・ ・ ・ 5 員複素環をもつもの[5]	14/22	・ ・ ・ 植物から得られる材料, 例. セルロースまたはその誘導体に, 対するもの[4]
13/477	・ ・ ・ ・ 6 員複素環をもつもの[5]	14/24	・ ・ ・ 動物から得られる材料, 例. 羊毛または絹に対するもの[4]
13/48	・ ・ エチレンイミン環を有するもの	14/26	・ ・ 合成物から得られる材料に対するもの[4]
13/487	・ ・ アジリジニルホスフィン; 酸化アジリジニルホスフィンまたは硫化アジリジニルホスフィン; カルボニルアジリジニルまたはカルボニルビスアジリジニル化合物; スルホニルアジリジニルまたはスルホニルビスアジリジニル化合物[5]	14/28	・ ・ ・ 炭素-炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られる高分子化合物の材料に対するもの[4]
13/493	・ ・ ・ 過ふっ素化されたもの[5]	14/30	・ ・ ・ 炭素-炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られる高分子化合物の材料に対するもの[4]
13/50	・ 有機金属化合物によるもの; ほう素, けい素, セレンまたはテルル原子を含む有機化合物によるもの[5]	14/32	・ ・ ・ ・ ポリエステル[4]
13/503	・ ・ 金属, ほう素, けい素, セレンまたはテルル原子と炭素原子の間に結合のないもの[5]	14/34	・ ・ ・ ・ ポリアミド[4]
13/507	・ ・ ・ 炭素-けい素結合のない有機けい素化合物[5]	14/36	・ 炭素繊維に対するもの[5]
13/51	・ ・ 少なくとも一つの炭素-金属, 炭素-ほう素, 炭素-けい素, 炭素-セレンまたは炭素-テルル結合をもつ化合物[5]	15/00	繊維, より糸, 糸, 織物またはこのような材料から製造された繊維製品の高分子化合物による処理; 機械的処理と組み合わせられたこのような処理 (D06M10/00, D06M14/00 が優先) [5]
13/513	・ ・ ・ 少なくとも一つの炭素-けい素結合をもつもの[5]		
13/517	・ ・ ・ ・ けい素-ハロゲン結合をもつもの		

注

D06M

1. このグループにおいては、下記の用語は以下に示す意味で用いる：

注

—“処理”とは、相反する指示がない限り、最終産物をもたらす処理を意味する、例：

注

(a) ポリビニルアルコールによる処理は、別々の段階におけるポリビニルアセテートおよびそれに続くけん化による処理を意味する；

注

(b) アミノプラストによる処理は、遅延硬化プロセスまたは初期縮合物による処理、または2つの別々の段階における例えば尿素とホルムアルデヒドによる処理を意味する。[5]

注

2. このグループにおいては、グループ D06M101/00 のインデキシングコードを付与することが望ましい。[5]

- 15/01 ・天然高分子化合物またはその誘導体によるもの（天然ゴムまたはその誘導体によるもの D06M15/693）[4]
- 15/03 ・多糖類またはその誘導体[4]
- 15/05 ・セルロースまたはその誘導体[4]
- 15/055 ・セルロース製造の硫酸化プロセスで得られる残留液によるもの[5]
- 15/07 ・セルロースエステル[4]
- 15/09 ・セルロースエーテル[4]
- 15/11 ・でん粉またはその誘導体[4]
- 15/13 ・アルギン酸またはその誘導体[4]
- 15/15 ・蛋白質またはその誘導体[4]
- 15/17 ・天然樹脂、樹脂アルコール、樹脂酸またはその誘導体[4, 5]
- 15/19 ・合成高分子化合物によるもの（合成ゴムによるもの D06M15/693）[4]
- 15/21 ・炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られる高分子化合物[4]
- 15/227 ・炭化水素の、またはその反応生成物の、例. 後ハロゲン化されたまたはスルホ塩素化されたもの[4]
- 15/233 ・芳香族、例. スチレン[4]
- 15/244 ・ハロゲン化炭化水素の（後ハロゲン化された炭化水素 D06M15/227）[4]
- 15/248 ・塩素を含有するもの[4]
- 15/252 ・臭素を含有するもの[4]
- 15/256 ・ふっ素を含有するもの[4]
- 15/263 ・不飽和カルボン酸の；その塩またはエステル[4]
- 15/267 ・アミノ基または第4級アンモニウム基をもつ不飽和カルボン酸エステルの[4]
- 15/27 ・不飽和カルボン酸のアルキルポリアルキレングリコールエステルの[4]
- 15/273 ・エポキシ基をもつ不飽和カルボン酸エステルの[4]
- 15/277 ・ふっ素を含有するもの[4]

- 15/285 ・不飽和カルボン酸アミドまたはイミドの[4]
- 15/29 ・N—メチロール基またはエーテル化された N—メチロール基を含むもの；N—アミノメチレン基を含むもの；N—スルフィドメチレン基を含むもの[4, 5]
- 15/295 ・ふっ素を含有するもの[4]
- 15/31 ・不飽和ニトリルの[4]
- 15/327 ・不飽和アルコールまたはそのエステルの[4]
- 15/33 ・ふっ素を含むエステル[5]
- 15/333 ・酢酸ビニルの；ポリビニルアルコール[4]
- 15/347 ・不飽和のエーテル、アセタール、ヘミアセタール、ケトンまたはアルデヒドの[4, 5]
- 15/353 ・ふっ素を含有するもの[4]
- 15/356 ・窒素、硫黄、けい素またはりん原子を含むその他の不飽和化合物の[5]
- 15/37 ・炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られる高分子化合物[4]
- 15/39 ・アルデヒド樹脂；ケトン樹脂；ポリアセタール[4]
- 15/41 ・フェノールアルデヒドまたはフェノールケトン樹脂[4, 5]
- 15/415 ・りんを含む化合物によって変性されたもの[5]
- 15/423 ・アミノアルデヒド樹脂[4, 5]
- 15/427 ・アルコキシ化された化合物によってまたはアルキレンオキシドによって変性されたもの[4]
- 15/429 ・硫黄を含む化合物によって変性されたもの[5]
- 15/43 ・りん化合物によって変性されたもの[4]
- 15/431 ・ホスフィンまたは酸化ホスフィンによるもの；ホスホニウム基の酸化物または塩によるもの[5]
- 15/432 ・ホスホン酸またはその誘導体によるもの[5]
- 15/433 ・りん酸によるもの[4]
- 15/437 ・ふっ素を含有するもの[4]
- 15/45 ・特別な触媒の使用[4]
- 15/507 ・ポリエステル[4]
- 15/51 ・不飽和重合性ポリエステル[5]
- 15/513 ・ポリカーボネート[4]
- 15/53 ・ポリエーテル（ポリアセタール D06M15/39）[4]
- 15/55 ・エポキシ樹脂[4]
- 15/555 ・りんを含む化合物によって変性されたもの[5]
- 15/564 ・ポリ尿素、ポリウレタンまたはウレイ

	ドまたはウレタン連結基をもつ他の重合体;その初期縮合物[4]
15/568	・ ・ ・ ・ イソシアネートとポリエーテルとの反応生成物[4]
15/572	・ ・ ・ ・ イソシアネートとポリエステルまたはポリエステルアミドとの反応生成物[4]
15/576	・ ・ ・ ・ ふっ素を含有するもの[4]
15/579	・ ・ ・ ・ りんを含む化合物によって変性されたもの[5]
15/59	・ ・ ・ ・ ポリアミド;ポリイミド[4, 5]
15/592	・ ・ ・ ・ 不飽和脂肪酸とポリアミンの重合物から成るもの[5]
15/595	・ ・ ・ ・ カルボキシアミド基の水素原子の置換によって得られる誘導体[5]
15/598	・ ・ ・ ・ りんを含む化合物によって変性されたもの[5]
15/61	・ ・ ・ ・ ポリアミン[4]
15/63	・ ・ ・ ・ 主鎖に硫黄を含有するもの, 例. ポリスルホン[4]
15/643	・ ・ ・ ・ 主鎖にけい素を含有するもの[4]
15/647	・ ・ ・ ・ ポリエーテル連鎖を含有するもの[4]
15/65	・ ・ ・ ・ エポキシ基を含有するもの[4]
15/653	・ ・ ・ ・ イソシアネート化合物によって変性されたもの[4]
15/657	・ ・ ・ ・ ふっ素を含有するもの[4]
15/667	・ ・ ・ ・ 主鎖にりんを含有するもの[4]
15/673	・ ・ ・ ・ 主鎖にりんおよび窒素を含有するもの[4]
15/687	・ ・ ・ ・ 主鎖にりん, けい素, 硫黄, 窒素, 酸素または炭素以外の原子を含有するもの[4]
15/693	・ 天然または合成ゴム, またはその誘導体によるもの[4]
15/70	・ 機械的処理との組合せによるもの[2006. 01]
15/705	・ ・ エンボス;カレンダーがけ;プレス[2006. 01]
15/71	・ ・ 冷却;スチーミングまたは加熱, 例. 流動層中のもの;熔融金属によるもの[5]
15/715	・ ・ 吸引;真空処理;ガス抜き;吹込[5]
16/00	繊維, より糸, 糸, 織物またはこのような材料から製造された繊維製品の生化学的処理, 例. 酵素[2]
A	セルロース系繊維
B	獣毛繊維
Z	その他

注

このグループにおいては, グループ 101/00 のインデキシングコードを付加することが望ましい。[5]

17/00	多層織物の製造
A	布帛と布帛のバインダーに特徴のあるもの

B	加熱融着布
C	カーペット [マツト]
D	凹凸層を有するもの
E	装置
F	高周波によるもの
G	二層構造を有するもの
H	・ 布帛と布帛
J	・ 布帛と繊維層
K	・ 布帛又は繊維層と合成樹脂
L	三層以上の構造を有するもの
M	・ 布帛又は繊維層のみからなるもの
Z	その他
17/02	・ 接着剤としてセルロース誘導体を適用するもの[5]
17/04	・ 接着剤として合成樹脂を適用するもの[5]
17/06	・ ・ ビニル化合物の重合体[5]
17/08	・ ・ ポリアミド[5]
17/10	・ ・ ポリウレタン[5]
19/00	羽毛の処理[2]
23/00	繊維, より糸, 糸, 織物またはこれらの材料から作られた繊維製品の処理で, そのプロセスに特徴があるもの[5]
A	有機物質による処理媒体の除去を伴う処理
Z	その他

注

このグループにおいては, グループ 101/00 のインデキシングコードを付与することが望ましい。[5]

23/02	・ 処理剤が放出可能に固着されているか, 分配手段に組み込まれているプロセス[5]
23/04	・ 処理剤が泡の形で適用されるプロセス[5]
23/06	・ 処理剤が気体中に分散されるプロセス, 例. エアロゾル[5]
23/08	・ 処理剤が粉体または細粒の形で適用されるプロセス (多層織物用の接着剤 D06M17/00) [2006. 01]
23/10	・ 処理剤が有機溶媒中に溶解または分散されるプロセス;その有機溶媒の回収のためのプロセス[5]
23/12	・ 処理剤がマイクロカプセル中に組込まれているプロセス[5]
23/14	・ 三次元的形体の繊維材料への固着または処理のためのプロセス[5]
23/16	・ 処理剤の不均一な適用のためのプロセス, 例. 片面処理;差別的処理[2006. 01]
23/18	・ ・ 織物または編物の縁の化学処理のためのもの;切断, 縫目または繊維の端の熱または化学的固定のためのもの[5]

処 理 さ れ る 繊 維 に 関 し , グ ル ー プ 11/00, 13/00, 15/00, 16/00 および 23/00 と関連するインデキシング系列[5]

101:00 処理される繊維, より糸, 糸, 織物またはこのような材料から製造された繊維製品の化学構造。[5]

注

(1) 例:

注

—塩基性の水酸化物によるセルロースの膨張は 11/38 に分類し, 101/06 にインデックスする。

注

—アミンによるセルロースの処理は 13/325 に分類し, 101/06 にインデックスする。

注

—ポリエステルによるポリエステル繊維の処理は 15/507 に分類し, 101/32 にインデックスする。

注

—ペプシンによる羊毛の処理は 16/00 に分類し, 101/12 にインデックスする。

注

—泡状四塩化けい素によるセルロースの処理は 11/78 および 23/04 に分類され, 101/06 にインデックスする。[5]

注

(2) 混合繊維は各成分繊維に従ってインデックスする。[5]

101:02 ・鉱物繊維以外の天然繊維[5]

101:04 ・植物性繊維[5]

101:06 ・セルロース系[5]

101:08 ・セルロースのエステルまたはエーテル[5]

101:10 ・動物性繊維[5]

101:12 ・ケラチン繊維または絹[5]

101:14 ・コラーゲン繊維[5]

101:16 ・鉱物繊維以外の合成繊維[5]

101:18 ・炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られる高分子化合物から成る合成繊維[5]

101:20 ・ポリアルケン, 芳香族基と結合するアルケニル基をもつ化合物の重合体または共重合体[5]

101:22 ・ハロゲン化モノオレフィンの重合体または共重合体[5]

101:24 ・アルケニルアルコールまたはそのエステルの重合体または共重合体; アルケニルエーテル, アセタールまたはケトンの重合体または共重合体[5]

101:26 ・不飽和カルボン酸またはその誘導体の重合体または共重合体[5]

101:28 ・アクリロニトリル; メタクリロニトリル[5]

101:30 ・炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られる高分子化合物から成る合成重合体[5]

101:32 ・ポリエステル[5]

101:34 ・ポリアミド[5]

101:36 ・芳香族ポリアミド[5]

101:38 ・ポリウレタン[5]

101:40 ・炭素繊維[5]